

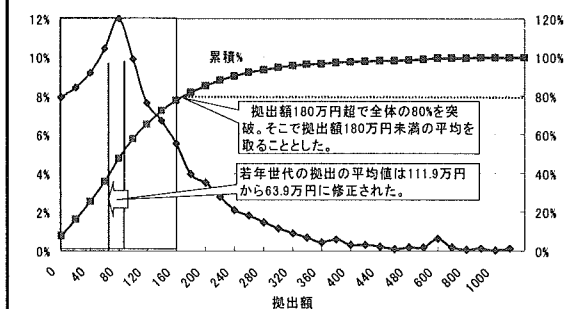
2. 問題の所在

- 年齢別の集計表は、「平均値」で示されている。平均値はデータの「代表値」の一つではあるが、必ずしも「最も多く観察されるケース」を示しているとは限らない。
- 多くの若年者が表1のとおり年間100万円以上の税と保険料を払っているのか？
- 多くの高齢者が表1のとおり年間86万円の医療費(現物給付)を使っているのか？
- そこで、各値の分布を見て「最頻値」を検討するとした。(多く観察される人々の集団の姿で代表させることを考えた。)

3. 若年世代の税・保険料拠出

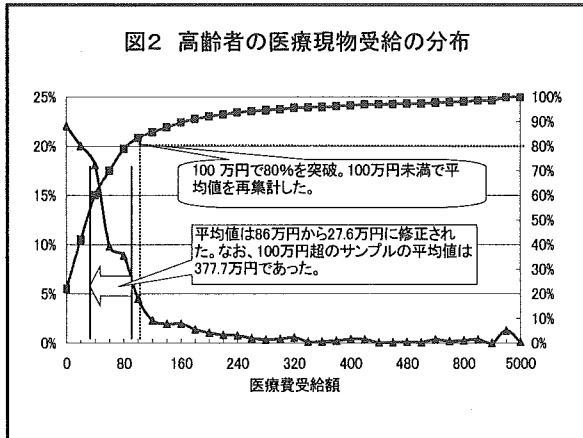
- 若年(ここでは60歳未満)世代の拠出の平均値は年間111.9万円/世帯。
- しかし、データには高額所得者(最大年収9千万円超など)が含まれ、平均値を押し上げている。
- 本研究でのアプローチ: 拠出額20万円間隔でヒストグラムを作り、最頻値から両側に区間を拡大し、全体の80%のサンプルが入る範囲内(つまり全体の8割の人が当てはまる数字)で平均値を再計算した。

図1 若年者の税・保険料拠出の分布



4. 高齢者の医療(現物)受給

- 高齢者の医療(現物)受給は、年間86.0万円/世帯となっている。
- これもかなり分布が偏っており、多くの(在宅)高齢者が利用額0となっている。
- ここでも最頻値から拡張して、8割の人が当てはまる階級に限定して平均値を再計算した。



5. 高齢者の年金受給の修正

- 高齢者の年金受給額の単純平均額は年間186.5万/世帯。
- 医療受給額ほど偏りはないが、高額年金受給者が平均値を引き上げている。
- ここでも320万円で80%を占めたので、受給320万円以下かつ医療受給が100万円以下の平均値は132.0万円となった。
- 以上の準備の下に集計対象の条件をそろえ、再度クロス集計表を作成した。

表2 修正された年齢別所得再分配状況

	60歳未満 修正後 ¹	60歳以上 修正後 ²	
当初所得	518.7	328.7	1. 高齢者の純受給は100万円以上減少。
税等拠出	76.5	69.2	2. 若年者の拠出額も30万円以上軽減。
社会保障受給	64.4	173.9	3. 単純な世代間再分配額は104.7+12.1=116.8と減少した。
うち年金等	18.8	132.0	
うち医療	33.0	25.6	
再分配所得	506.6	433.4	
修正後純受給	-12.1	104.7	
修正前純受給	-46.1	217.1	

注:1. 税・社会保険拠出額が200万円以下のサンプル
2. 医療受給額が年間100万円未満かつ年金受給額が年間320万円以下のサンプル

6. まとめと考察、含意

- この研究の目的: 平均値ではわからない「代表的な人々」の所得再分配の実態に近づこうとした。
- 手法: 分布の偏りによる平均値の偏りを最頻値(全体の8割のサンプル)の平均値に置き換えて再推計した。
- 結果: 当初の単純な世代間の再分配は250万円以上であったが、修正後は117万円程度と100万円以上(or 半分以下)に減少した。

- 考察: 世代間所得再分配は小さくはないが、これまでの数値ほど大きくはない。(若年世代の純負担も年間12万円程度)
- インプリケーション:
 - 8割の人々の値を集計すると単純な世代間所得再分配額が半分以下になる。
 - これは、残りの2割でかなり大きな所得再分配があることを意味する。
 - ここから導き出される今後の所得再分配政策の含意は以下のとおり。

- 【受給側】今回の推計値の変化から、高齢者に対する社会保障給付の増大は限定された(残り2割の)集団の問題といえ、ここに焦点を絞った政策の研究が必要。
- 【拠出側】8割の人々が12万円程度の純負担で、残り2割(高所得者層)がかなり大きな負担をしていることを意味する。昨今問題の「格差」縮小のために累進的にこのグループにこれ以上の負担を求めるのは慎重な検討が必要ではないか。
- 【高齢化と社会政策】高齢化率30%の場合、2つの若い世帯の12万円(または46万円)の拠出で、1つの高齢者世帯の105万円(または217万円)の給付をまかなうのは困難。かなりダイナミックな所得再分配政策の再構築が必要。

7. 残された課題

- サンプルの問題
 - 『所得再分配調査』は『国民生活基礎調査』をベースにしているため、在宅の高齢者が中心。介護施設、病院にいる高齢者の医療受給を十分には反映していない。
- 所得再分配が家計の行動に及ぼす影響
 - 税・社会保険料、児童福祉関連受給が若年世代や女性の労働供給や家計貯蓄、子供数に及ぼす影響に研究を拡張させたい。

付属資料

所得格差と生活実態に着目した再分配政策の条件に 関する調査

－働き方と所得再分配の在り方に関する調査 調査票－

<分担研究者>

京都大学大学院経済学研究科教授 橘木 俊詔
大阪大学社会経済研究所教授 チャールズ・ユウジ・ホリオカ
北海道大学大学院経済学研究科助教授 高木 真吾
関西大学経済学部助教授 前川 聡子
甲南女子大学人間環境学部助教授 吉田 有里

<主任研究者>

国立社会保障・人口問題研究所 金子 能宏
社会保障応用分析研究部部長

働き方と所得再分配の在り方に関する調査

現在のお仕事について、おうかがいします。

問1 あなた（と配偶者）のお仕事についておたずねします。現在、お仕事をなさっていますか。（それぞれ○は1つ）

あなた		配偶者（いらっしゃる場合）	
1	無職である	1	無職である
2	専業主婦をしている	2	専業主婦をしている
3	定年退職者である	3	定年退職者である
4	正社員として働いている	4	正社員として働いている
5	契約社員として働いている	5	契約社員として働いている
6	パート・アルバイトとして働いている	6	パート・アルバイトとして働いている
7	自営業・農業をしている	7	自営業・農業をしている
8	家庭内で就労（内職など）をしている	8	家庭内で就労（内職など）をしている
9	その他（具体的に)	9	その他（具体的に)

問1-1 その業種は何ですか。（それぞれ○は1つ）

あなた		配偶者（いらっしゃる場合）	
1	公務員	1	公務員
2	製造業(事務職)	2	製造業(事務職)
3	製造業(工場労働)	3	製造業(工場労働)
4	建設業(事務職)	4	建設業(事務職)
5	建設業(現場)	5	建設業(現場)
6	日雇い労働	6	日雇い労働
7	不動産	7	不動産
8	農林業	8	農林業
9	漁業	9	漁業
10	自営業	10	自営業
11	サービス業	11	サービス業
12	教職(学校)	12	教職(学校)
13	医療関係	13	医療関係
14	その他（具体的に)	14	その他（具体的に)

問2 就労されている場合、あなたは1週間で平均して何時間くらい働いていますか。残業も含めてお答えください。

平均 時間 / 1週間

問2-1 また、現在の勤め先での勤続期間はどれくらいですか。（○は1つ）

1	1年未満	5	10～15年未満
2	1～3年未満	6	15～20年未満
3	3～5年未満	7	20年以上
4	5～10年未満		

引き続き、2ページの問3へ

2 ページの問 5 へ

問 3 就労されている場合、現在の勤め先に入社した、または、現在の事業や商売をはじめたのは何歳でしたか。(出向者の方は出向元の勤め先に入社した年齢、転籍の方は現在の勤め先に移った年齢をご記入ください。)

満

--	--

 歳のとき

問 4 就労されている場合、あなたのお勤め先の現在の従業員（働いている人）は、何人くらいですか。(会社全体で、パート、家族従業員も含めてお答えください。出向中の方は出向先の従業員をお答えください) (○は1つ)

1 1～4人	4 30～49人	7 300～999人
2 5～9人	5 50～99人	8 1,000人以上
3 10～29人	6 100～299人	

問 6 へ

【問 1 で「1 無職である」、「2 専業主婦をしている」を選んだ方におたずねします。】

問 5 現在、あなたが仕事についていないのは、どのような理由からですか。(○は1つ)

- 1 休職中だから
- 2 失業して求職活動をしている最中だから ⇒ (失業期間：約 ___ヶ月 ___週間)
- 3 家事・育児・介護に専念したいから
- 4 ボランティア活動や趣味・お稽古など仕事以外にすることがあるから
- 5 健康が許さないから
- 6 学生だから
- 7 その他 (具体的に _____)

これまで経験されたお仕事や収入の変化についておうかがいします。

問 6 あなた (と配偶者) の最終学歴はどれにあたりますか。(それぞれ○は1つ)

	あなた		配偶者 (いらっしゃる場合)
1	中学 (旧制小・高等小) 卒	1	中学 (旧制小・高等小) 卒
2	高校 (旧制中・旧制高女) 卒	2	高校 (旧制中・旧制高女) 卒
3	短大・高専卒	3	短大・高専卒
4	大学・大学院 (旧制高) 卒	4	大学・大学院 (旧制高) 卒
5	在学中	5	在学中
6	その他 (具体的に _____)	6	その他 (具体的に _____)

問 7 これまでに、あなたは転職を経験されたことがありますか。(元の企業に籍を残したままの出向や同一企業内での異動は転職には数えません。転籍は転職として数えてください。)

- 1 はい ⇒ 何回転職されましたか。(___回)
- 2 いいえ

問7-1 これまでの転職で、ひと月あたりの収入は転職前と比べてどう変化しましたか。また、その変化の程度は「転職前の収入」の何%くらい増減しましたか。(それぞれ○は1つ)

新しい順に	①	現在の職業に変わる時	1	あがった	⇒ (転職前の _____ %くらい増えた)
			2	変わらない	
			3	さがった	⇒ (転職前の _____ %くらい減った)
	②	現在の職業の前職に変わる時 (1回前の転職)	1	あがった	⇒ (転職前の _____ %くらい増えた)
			2	変わらない	
			3	さがった	⇒ (転職前の _____ %くらい減った)
	③	2回前の転職	1	あがった	⇒ (転職前の _____ %くらい増えた)
			2	変わらない	
			3	さがった	⇒ (転職前の _____ %くらい減った)

問8 長引く景気低迷の中、株価の上昇など明るい面も増えてきた最近ですが、あなたの現在のひと月あたりの収入は、昨年、一昨年と比べてどのように変化しましたか。(それぞれ○は1つ)

昨年と比べて今年の月収は		一昨年と比べて今年の月収は	
1	あがった⇒ (_____ %くらい増えた)	1	あがった⇒ (_____ %くらい増えた)
2	変わらなかった	2	変わらなかった
3	さがった⇒ (_____ %くらい減った)	3	さがった⇒ (_____ %くらい減った)

問9 問8で「昨年、一昨年と比べて現在のひと月あたりの収入が変わった」とお答えの方におたずねします。収入が変わった理由は、次のどれですか？(それぞれ○は2つまで)

昨年と比べて現在の月収が変わった理由	一昨年と比べて現在の月収が変わった理由
1 勤め先の業績がよくボーナスなどが増えたため	1 勤め先の業績がよくボーナスなどが増えたため
2 転職したため	2 転職したため
3 休職したため(育児休業や病気療養など)	3 休職したため(育児休業や病気療養など)
4 失業して求職中であるため	4 失業して求職中であるため
5 退職したため(年金を受給し始めたため)	5 退職したため(年金を受給し始めたため)
6 株式など金融資産や不動産からの所得があったため	6 株式など金融資産や不動産からの所得があったため
7 株式など金融資産や不動産(土地など)を売却したため	7 株式など金融資産や不動産(土地など)を売却したため
8 親からの遺産を相続したため	8 親からの遺産を相続したため
9 その他(具体的に _____)	9 その他(具体的に _____)

問10 以前と比べて(例えば1年前と比べて)月々の所得が変わったとき、どのように対応されますか? 次の2つの場合それぞれについてお答えください。【当てはまる番号を下欄にお書きください。】

月々の所得が上がったとき	月々の所得が下がったとき
1 毎月の消費額を増やす	1 毎月の消費額を減らす
2 毎月の貯蓄額を増やす	2 毎月の貯蓄額を減らす
3 子どもの教育費を増やす	3 子どもの教育費を減らす
4 親への仕送りを増やす	4 親への仕送りを減らす
5 住宅ローンなどローンの返済を増やす(早める)	5 住宅ローンなどローンの返済を減らす(遅らせる)
6 その他(具体的に _____)	6 その他(具体的に _____)

<input type="checkbox"/>	← もっとも重要だと思うもの
<input type="checkbox"/>	← 次に重要だと思うもの

<input type="checkbox"/>	← もっとも重要だと思うもの
<input type="checkbox"/>	← 次に重要だと思うもの

あなたの収入や消費などについておうかがいします。

問11 あなたご自身とあなたの世帯の年間収入（税・社会保険料込み）は、それぞれどのくらいですか。昨年の収入を参考に、下記のあてはまるものを選択してください。（それぞれ○は1つ）

あなたご自身の年間収入		あなたの世帯の年間収入	
1	200万円未満	1	200万円未満
2	200～300万円未満	2	200～300万円未満
3	300～400万円未満	3	300～400万円未満
4	400～600万円未満	4	400～600万円未満
5	600～800万円未満	5	600～800万円未満
6	800～1,000万円未満	6	800～1,000万円未満
7	1,000～1,200万円未満	7	1,000～1,200万円未満
8	1,200～2,000万円未満	8	1,200～2,000万円未満
9	2,000万円以上	9	2,000万円以上

問11-1 あなたご自身の年間収入には、どのような種類の収入が含まれますか。すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1	日給	6	育児休業給付	10	事業所得（会社経営・自営業など）
2	週給	7	公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金など）	11	譲渡所得（株式や土地など）
3	月給	8	企業年金	12	仕送り
4	ボーナス	9	退職金	13	遺産相続
5	失業保険			14	その他（具体的に ）

問11-2 あなたの世帯全体の総資産（貯金、株、債券、土地・建物のおよその時価など）は、およそどのくらいですか。（○は1つ）

1	300万円未満	4	1,200～2,000万円未満	7	5,000～1億円未満
2	300～800万円未満	5	2,000～3,000万円未満	8	1億～1億5千万円未満
3	800～1,200万円未満	6	3,000～5,000万円未満	9	1億5千万円以上

問12 あなたがお住まいの住居は、次のどれにあたりますか。（○は1つ）

1	一戸建ての持家	4	集合住宅の借家
2	一戸建ての借家	5	社宅・寮
3	集合住宅（マンション・アパート）の持家	6	その他（具体的に ）

問12-1 持ち家の方におたずねします。現在、住宅ローンはありますか。ある場合、毎月のご返済額はどのくらいかご記入ください。無い場合は「0」とご記入ください。

住宅ローンのご返済額
（月額） 万円

問13 あなたの最近ひと月あたりの消費額と、昨年のひと月あたりの消費額はおよそいくらですか。

最近ひと月あたりの消費額 万円 昨年のひと月あたりの消費額 万円

この「消費額」は、食費・外食費、光熱水道費、住居費（家賃など）、衣料費、交通費（自動車の維持費など含む）、医療費、教育費、教養娯楽費、その他の支出の合計です。

問14 あなたの最近ひと月あたりの貯蓄額と、昨年のひと月あたりの貯蓄額はおよそいくらですか。

最近ひと月 あたりの貯蓄額	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円	昨年のひと月 あたりの貯蓄額	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円
------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----	-------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----

問14-1 貯蓄をしていらっしゃる理由として、あてはまるものを選んでください。【当てはまる番号を下欄にお書きください。】

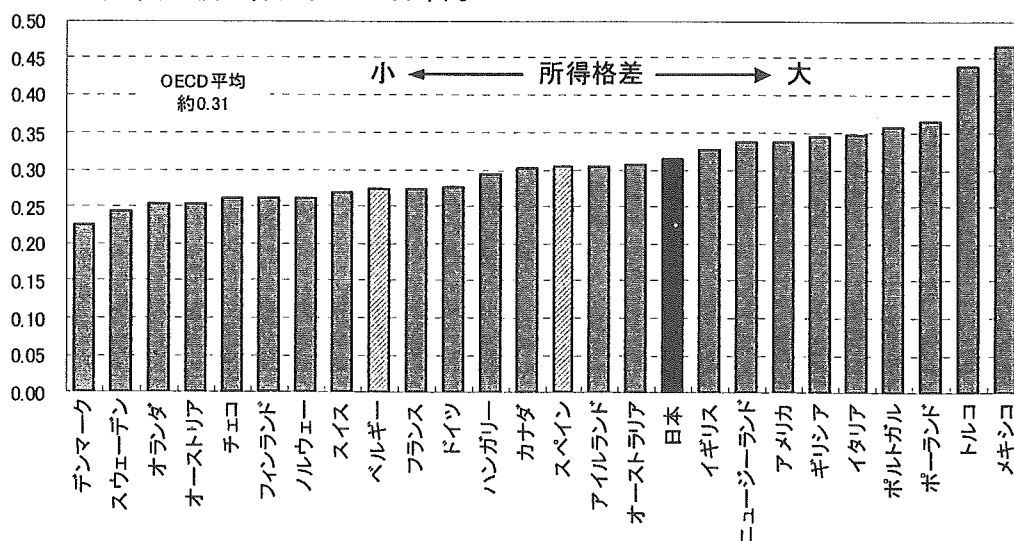
- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 病気や事故など予想できない出費に備えるため | 5 資格をとったり留学などするため、自分の勉強に使いたいから |
| 2 退職した後の生活に備えるため | 6 子どもの教育費のため |
| 3 大型テレビや自動車など、耐久消費財を買いたいから | 7 子どもに遺産を残したいから |
| 4 将来、住宅を買いたいから | 8 結婚に備えたいから |
| | 9 その他（具体的に） |

<input type="text"/>	← もっとも重要だと思うもの
<input type="text"/>	← 次に重要だと思うもの

問15 貯蓄は収益が変わることがあります。収益の変化に対するあなたの気持ちをおたずねします。仮に、10万円が当たる宝くじの当選する確率が「2分の1」（半々の確率で当たる）であったとします。この宝くじが1枚200円だった場合、あなたは、この宝くじを何枚まで買っていいとお考えですか。その枚数をお答えください。

1 全く買わない 2 最大 枚なら買っていい（1枚200円として）

問16 経済開発機構OECDという国際機関が、欧米・日本・韓国の所得格差を国際比較したグラフを公表しました（次図、濃い棒グラフが日本）。



資料：OECD "Income Distribution and Poverty in OECD Countries in the second half of the 1990s"
注：ベルギーとスペイン以外は2000年頃の数値。

この図によると、日本の所得格差は、北欧、ドイツ、フランスより大きく、アメリカよりは小さく、OECD諸国の平均に近いことがわかりました。これをみて、あなたはどのようなお考えをもちますか。(○は1つ)

- 1 日本はアメリカと同様に経済・貿易に力を入れる必要があるから、政府の所得再分配政策は、所得格差がアメリカより大きくなならない程度に、控えめに行えばよい
- 2 福祉国家と呼ばれる北欧、西ヨーロッパ諸国のように所得格差が小さくなるよう、政府の所得再分配政策はもっと積極的にするのがよい
- 3 日本の所得格差は、アメリカ、北欧、西ヨーロッパ諸国を含む OECD 加盟国の平均に近いから、政府の所得再分配政策はいまのままでよい

注) 所得再分配政策とは、所得の高い人の税や社会保険料の負担を重くして、これを財源に所得の低い人に所得移転する様々な政策(累進税制、公的扶助、失業給付、年金給付など)のことです。

問17 新聞・テレビの報道や国会で、所得格差が大きくなっているかどうかについて関心が高まっています。このことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 所得が高いか低いかは自分の努力や成果によるものだから、所得格差は受け入れるべきだ
- 2 所得の低い人を助けるのはよいことだから、税や社会保障を用いて所得格差を小さくする方がよい
- 3 病気や災害など予想しないことで所得が低くなることもあるから、税や社会保障を用いて所得格差を小さくする方がよい
- 4 所得格差を小さくするには、所得の高い人から低い人に所得移転するから、格差を小さくするのは所得の高い人のやる気を損なわない範囲にとどめるべきだ
- 5 所得格差は、学校にいけるかどうか、就職するチャンスがあるかどうか、親から遺産があるかないかにも関係するので、どの人も機会が同じになるようにすることが大事だ

医療保険の負担と給付についておうかがいします。

問18 あなたが加入している医療保険は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 組合健康保険 (本人) | 6 共済健康保険 (家族) |
| 2 組合健康保険 (家族) | 7 国民健康保険 |
| 3 政府管掌健康保険 (本人) | 8 国民健康保険・退職者医療保険制度 |
| 4 政府管掌健康保険 (家族) | 9 その他 (船員、日雇など) |
| 5 共済健康保険 (本人) | 10 保険を持っていない、加入していない |

「組合健康保険」は主に大企業の提供する保険、「政府管掌健康保険(別名、社会保険)」は中小企業の従業員のために社会保険庁が運営する医療保険、「共済健康保険」は公務員の医療保険です。また、「国民健康保険・退職者医療保険制度」は、企業に勤めていた方が退職後、国民健康保険に入る場合に加入する保険です。

問19 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

問20 あなたは、最近3ヶ月の間に何度くらい医者にかかりましたか。(○は1つ)

- 1 かかった ⇒ (___ 回 / 3ヶ月) 2 かからなかった

問20-1 あなたが、最近3ヶ月間に通院で支払った医療費(自己負担分)はおよそいくらですか。

最近3ヶ月で

--	--	--	--	--	--

 円くらい

問20-2 最近3ヶ月間に通院したことのある医療機関の診療科をそれぞれお答えください。

(当てはまる診療科すべてについて、①、②、③それぞれ○は1つずつ)

	内科	外科	整形外科・形成外科	(産婦人科)	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	肛門科	呼吸器科	消化器科	循環器科	精神科	神経科	歯科	接骨・整骨・整体院	その他(具体的に)
① (最も多く) 通院した医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 ()
② 2番目に多く通院した医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 ()
③ 3番目に多く通院した医療機関 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 ()

②~③は、複数の医療機関に通院されている方のみご記入下さい(通院している医療機関が1つならば①にのみ記入)

問21 あなたは、公的な医療保険(健康保険や国民健康保険)の負担について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 通院していないので、自分には何も便益がなく、保険料支払いが負担に感じられる
- 2 通院していないが、いつ病気になるか分からないので保険料は仕方がない負担だと思う
- 3 通院していないが、病気になった場合の備えだから保険料は負担だと思わない
- 4 通院しているので保険が役に立っていることは分かるが、保険料支払いは負担に思う
- 5 通院しており、実際の医療費よりも支払いが少ないことが分かっているので、保険料の支払いは負担に思わない。
- 6 会社や住んでいる地域の保険というよりも、むしろ保険料を自分のために積み立てて、自分が病気のときに使えるような仕組みならば、負担には思わない

問22 あなたの世帯では、民間の生命保険、個人年金、医療保険、介護保険などに加入されていますか。(○はそれぞれいくつでも)

	民間の生命保険	民間の医療保険 (生命保険の医療保険特約を含む)	民間のガン保険	民間の個人年金	民間の介護保険	この中のものには全く加入していない
あなた	1	2	3	4	5	6
配偶者	1	2	3	4	5	6

問22-1 民間の「医療保険」か「ガン保険」に加入されている方におうかがいします。その保険に保険料として月々いくら払っていますか。

月々

--	--	--	--	--	--

 円くらい

問22-2 もしも国民健康保険の保険料が、あなたの収入に比例する保険料になったら、いまよりも払いやすくなると思いますか。(○は1つ)

払いやすくなる	←				→	払いにくなる
1		2	3	4		5

公的年金制度の負担と給付についておうかがいします。

問23 あなたが加入している公的年金制度は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1	厚生年金保険（本人）	5	共済年金（被扶養配偶者）
2	厚生年金保険（被扶養配偶者）	6	その他（船員、日雇など）
3	国民年金	7	保険を持っていない、加入していない
4	共済年金（本人）		

問23-1 年金受給開始後の「年金を含めた収入」が、「現在の収入」の何割程度あればいいと思いますか。(○は1つ)

1	4割未満	4	6～7割未満	7	9割～現在と同額未満
2	4～5割未満	5	7～8割未満	8	現在と同額～現在の1.5倍未満
3	5～6割未満	6	8～9割未満	9	現在の1.5倍以上

問24 高齢者の所得格差は現役世代の格差よりも大きく、高齢者が多くなるほど格差が拡大するという指摘があります。このような状況のもとで、公的年金制度の給付と負担はどのようなものが望ましいか、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

- 1 年金の給付額は収入と保険料で納めた額に比例している方がよい。引退後の生活費がまかなえない収入の低い人は、生活保護など年金制度と別の制度で支えるのがよい
- 2 年金が収入と保険料で納めた額に比例すると、収入が低い人は生活できない場合もあるから、年金には、最低限の給付と収入に比例する部分がある方がよい。最低限の年金はすべての人が負担する税金でまかなう方がよい
- 3 年金が収入と保険料で納めた額に比例すると、収入が低い人は生活できない場合もあるから、年金には、最低限の給付と収入に比例する部分がある方がよい。最低限の年金は、収入の高い人の給付を減らして給付の低い人に回すなど年金制度の中でまかなう方がよい

問25 全ての方におたずねします。国民年金に入っている自営業の人でも、パートタイム労働の人でも、収入は毎月変わる可能性があります。一方、国民年金の保険料額は定額（月額13,580円）です。現在、一年前の所得が一定額以下の場合、全額免除や半額免除がありますが、前もって社会保険事務所に申し込む必要があり時間がかかります。そこで、国民年金の負担はどのようなものがよいか、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

- 1 定額の保険料だと、収入が下がると払えない場合がある。その場合でも、後でまとめて保険料を払い込む制度があるから、この制度を利用すればよい
- 2 定額の保険料だと、収入が下がると払えない場合がある。保険料の免除は一年前の所得で申請しないといけないので、急に収入が減ったときに対応できないから、収入に比例した保険料の方がよい
- 3 定額の保険料負担だと、収入が下がったとき払えない場合がある。払えない場合、後でまとめて保険料を払い込む制度があるけれども、後回しにするほど一度に払う額が多くなるから、収入に比例した保険料の方がよい
- 4 保険料額が定額でも、その額はあらかじめわかっているから、収入が下がったときに備えて払えるように気をつけて努力する方がよい
- 5 国民年金の給付は一定額で、厚生年金の定額部分と同じで、国民共通の年金として基礎年金とも呼ばれるものだから、消費税などだれもが負担する税金でまかなうのがよい

問26 国民年金に加入している方におたずねします。

問26-1 いまの自分の収入や財産状態と比べてみて、毎月定額（13580円）の保険料を支払う余裕はありますか。（○は1つ）

余裕がある	←		→	余裕がない
1	2	3	4	5

問26-2 もしも国民年金の保険料が、あなたの収入に比例する保険料になったら、いまよりも払いやすくなると思いますか。（○は1つ）

払いやすくなる	←	いまと変わらない	→	払いにくなる
1	2	3	4	5

問26-3 保険料の免除制度、半額免除制度を知っていましたか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ（知らなかった）
------	---------------

あなたのご家族などについて伺います。

問27 あなたは現在、結婚なさっていますか。また、結婚されたのはあなたが何歳のときですか。

1 既婚	2 未婚	3 配偶者と離別	4 配偶者と死別
------	------	----------	----------

結婚時の
あなたの年齢 歳

問28 あなた及び配偶者の方の現在の年齢をお答えください。（配偶者は既婚の場合のみ）

現在の
あなたの年齢 歳

現在の
配偶者の年齢 歳

問29 あなたの世帯の世帯主は、あなたから見て次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1 本人	3 配偶者
2 同居の親	4 その他（具体的に _____）

問29-1 あなたと同居しているご家族はあなたを含めて何名ですか。

自分を含めて 名

問30 あなたは、あなたの親または配偶者の方の親と同居していますか。（○は1つ）

1 同居していない	2 自分の親と同居	3 配偶者の親と同居
-----------	-----------	------------

問31 お子さんは何人いらっしゃいますか。（亡くなったお子さんも含めてください）

1 子どもはいない	2 子どもは _____ 人 いる
-----------	-------------------

問32 最初のお子さんと一番末のお子さんが生まれたのは、それぞれあなたが何歳のときでしたか。

(お子さんが1人の場合は①のみ)

①最初のお子さんが生まれた時のあなたの年齢 歳

①一番末のお子さんが生まれた時のあなたの年齢 歳

問33 お持ちになりたいと思うお子さんの数(理想子ども数)は何人ですか。(○は1つ)

1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上 5 子どもはいらない

問34 お仕事や収入を考えるとこれから何人のお子さんをお持ちになれると思いますか。(○は1つ)

1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上 5 子どもはいらない

問35 お持ちになることができると思うお子さんの数(問33の子ども数)がお持ちになりたいお子さんの数(理想子ども数)(問32の子ども数)より少ない方におたずねします。その理由は何ですか。最もあてはまるものから順に3つまで選んでください。(○は3つまで)

1	子育てや教育にお金がかかるから	8	健康上の理由(ほしいけれどできないなど)
2	家が狭いから	9	配偶者が(さらに)子どもをもつことを望まないから
3	仕事(勤めや家業)に差し支えるから	10	定年退職までに一番末の子が成人してほしいから
4	自分や夫婦の時間を大切にしたいから	11	子どもがのびのび育つ社会環境でないから
5	高年齢で産むのはいやだから	12	その他(具体的に)
6	育児の心理的、肉体的負担が大変だから		
7	配偶者の家事育児の協力が足りないから		

問36 お子さんのいる方におたずねします。最初のお子さんについて、以下のような制度や施設を利用しましたか。あなたまたは配偶者の方が利用したことのあるもの、受給したことのあるものすべてに○を付けてください。(○はいくつでも)

1	産前・産後休業制度	6	無認可保育所・ベビーホテルなど
2	育児休業制度 → 休業期間()ヶ月	7	企業内保育所
3	育児時間・短時間勤務制度	8	保育ママ・ベビーシッターなど
4	私立の認可保育所	9	児童手当・児童扶養手当
5	公立の認可保育所	10	児童扶養控除
		11	どれも利用したことや受けたことがない

注)児童扶養控除は、18歳未満の子がいる場合に税負担を軽減するため、課税所得から一定額を控除する制度です。

問37 お子さんのいる方におたずねします。最初のお子さんが3歳になるまでのあいだ(3歳未満の場合は現在まで)に、あなたまたは配偶者の方はあなたのお母様や配偶者のお母様から子育ての手助けを受けましたか。あてはまるものに○を付けてください。(それぞれ○はひとつ)

あなたのお母様からの手助け		配偶者のお母様からの手助け	
1	日常的にあった	1	日常的にあった
2	ときどきあった	2	ときどきあった
3	あまりなかった	3	あまりなかった
4	なかった	4	なかった

質問はこれで終わりです。ご回答ありがとうございました。

別添：働き方と所得再分配の在り方に関する調査（サマリー・データ記入版）

現在のお仕事について、おうかがいします。

問1 あなた（と配偶者）のお仕事についておたずねします。現在、お仕事をなさっていますか。（それぞれ○は1つ）

	あなた	配偶者（いらっしゃる場合）	
10.0	1 無職である	1 無職である	6.4
14.6	2 専業主婦をしている	2 専業主婦をしている	24.3
4.4	3 定年退職者である	3 定年退職者である	5.4
39.5	4 正社員として働いている	4 正社員として働いている	31.5
3.8	5 契約社員として働いている	5 契約社員として働いている	3.3
15.2	6 パート・アルバイトとして働いている	6 パート・アルバイトとして働いている	12.3
9.6	7 自営業・農業をしている	7 自営業・農業をしている	6.6
0.2	8 家庭内で就労（内職など）をしている	8 家庭内で就労（内職など）をしている	1.0
2.0	9 その他（具体的に ）	9 その他（具体的に ）	2.0
0.8			7.2
(%)			(%)

問1-1 その業種は何ですか。（それぞれ○は1つ）

	あなた	配偶者（いらっしゃる場合）	
8.8	1 公務員	1 公務員	8.6
11.6	2 製造業(事務職)	2 製造業(事務職)	7.7
6.8	3 製造業(工場労働)	3 製造業(工場労働)	6.8
3.4	4 建設業(事務職)	4 建設業(事務職)	3.2
2.6	5 建設業(現場)	5 建設業(現場)	2.7
0.3	6 日雇い労働	6 日雇い労働	0.5
0.9	7 不動産	7 不動産	1.4
0.6	8 農林業	8 農林業	0.5
0.0	9 漁業	9 漁業	0
9.9	10 自営業	10 自営業	8.1
25.9	11 サービス業	11 サービス業	22.5
3.4	12 教職(学校)	12 教職(学校)	3.6
7.1	13 医療関係	13 医療関係	10.8
17.0	14 その他（具体的に ）	14 その他（具体的に ）	19.4
1.7			4.5
(%)			(%)

問2 就労されている場合、あなたは1週間で平均して何時間くらい働いていますか。残業も含めてお答えください。

平均 41.8 時間 / 1週間

問2-1 また、現在の勤め先での勤続期間はどれくらいですか。（○は1つ）

1	1年未満		5	10～15年未満	
2	1～3年未満	11.4	6	15～20年未満	13.9
3	3～5年未満	13.9	7	20年以上	8.2
4	5～10年未満	12.2			26.4
		13.1			0.9
		(%)			(%)

問3 就労されている場合、現在の勤め先に入社した、または、現在の事業や商売をはじめたのは何歳でしたか。(出向者の方は出向元の勤め先に入社した年齢、転籍の方は現在の勤め先に移った年齢をご記入ください。)

満

	31.7	
--	------	--

 歳のとき

問4 就労されている場合、あなたのお勤め先の現在の従業員(働いている人)は、何人くらいですか。(会社全体で、パート、家族従業員も含めてお答えください。出向中の方は出向先の従業員をお答えください)(○は1つ)

1	1～4人	15.3		4	30～49人	7.7		7	300～999人	9.1
2	5～9人	8.0		5	50～99人	6.8		8	1,000人以上	25
3	10～29人	12.8		6	100～299人	13.9				1.4
		(%)				(%)				(%)

問6へ

【問1で「1 無職である」、「2 専業主婦をしている」を選んだ方におたずねします。】

問5 現在、あなたが仕事についていないのは、どのような理由からですか。(○は1つ)

- 0.8 1 休職中だから
- 4.9 2 失業して求職活動をしている最中だから ⇒ (失業期間: 約 1 ヶ月 2.3 週間)
- 30.1 3 家事・育児・介護に専念したいから
- 24.4 4 ボランティア活動や趣味・お稽古など仕事以外にすることがあるから
- 8.1 5 健康状態があまりよくないから
- 11.4 6 学生だから
- 17.9 7 その他(具体的に)
- 2.4 (%)

これまで経験されたお仕事や収入の変化についておうかがいします。

問6 あなた(と配偶者)の最終学歴はどれにあたりますか。(それぞれ○は1つ)

	あなた	配偶者(いらっしゃる場合)	
5.0	1 中学(旧制小・高等小)卒	1 中学(旧制小・高等小)卒	5.4
35.9	2 高校(旧制中・旧制高女)卒	2 高校(旧制中・旧制高女)卒	39.9
16.6	3 短大・高専卒	3 短大・高専卒	19.9
34.9	4 大学・大学院(旧制高)卒	4 大学・大学院(旧制高)卒	26.1
3.4	5 在学中	5 在学中	0
3.0	6 その他(具体的に)	6 その他(具体的に)	1.5
1.2 (%)			7.2 (%)

問7 これまでに、あなたは転職を経験されたことがありますか。(元の企業に籍を残したままの出向や同一企業内での異動は転職には数えません。転籍は転職として数えてください。)

- 49.5 1 はい ⇒ 何回転職されましたか。(2.7 回)
- 48.9 2 いいえ →

3ページの間8へ

- 1.6 (%)

問7-1 これまでの転職で、ひと月あたりの収入は転職前と比べてどう変化しましたか。また、その変化の程度は「転職前の収入」の何%くらい増減しましたか。(それぞれ○は1つ)

新しい順に	①	現在の職業に変わる時	1	あがった ⇒ (転職前の <u>35.1</u> %くらい増えた)	29.4
			2	変わらない	28.2
			3	さがった ⇒ (転職前の <u>34.8</u> %くらい減った)	36.7
②	現在の職業の前職に変わる時 (1回前の転職)	1	あがった ⇒ (転職前の <u>27.7</u> %くらい増えた)	5.6	25.9
		2	変わらない		42.6
		3	さがった ⇒ (転職前の <u>29.8</u> %くらい減った)		25.3
③	2回前の転職	1	あがった ⇒ (転職前の <u>32.9</u> %くらい増えた)	22.9	6.2
		2	変わらない	46.7	
		3	さがった ⇒ (転職前の <u>24.2</u> %くらい減った)	21.0	

9.5

問8 長引く景気低迷の中、株価の上昇など明るい面も増えてきた最近ですが、あなたの現在のひと月あたりの収入は、昨年、一昨年と比べてどのように変化しましたか。(それぞれ○は1つ)

昨年と比べた今年の月収は			一昨年と比べた今年の月収は		
12.8	1	あがった ⇒ (<u>10.9</u> %くらい増えた)	1	あがった ⇒ (<u>12.1</u> %くらい増えた)	13.8
58.3	2	変わらなかった	2	変わらなかった	45.3
21.6	3	さがった ⇒ (<u>28.3</u> %くらい減った)	3	さがった ⇒ (<u>34</u> %くらい減った)	20.0
7.4					21.0
(%)					(%)

問9 問8で「昨年、一昨年と比べて現在のひと月あたりの収入が変わった」とお答えの方におたずねします。収入が変わった理由は、次のどれですか？(それぞれ○は2つまで)

昨年と比べて現在の月収が変わった理由			一昨年と比べて現在の月収が変わった理由		
15.7	1	勤め先の業績がよくボーナスなどが増えたため	1	勤め先の業績がよくボーナスなどが増えたため	17.2
8.1	2	転職したため	2	転職したため	9.5
2.9	3	休職したため(育児休業や病気療養など)	3	休職したため(育児休業や病気療養など)	1.8
2.9	4	失業して求職中であるため	4	失業して求職中であるため	3.0
3.5	5	退職したため(年金を受給し始めたため)	5	退職したため(年金を受給し始めたため)	5.3
1.7	6	株式など金融資産や不動産からの所得があったため	6	株式など金融資産や不動産からの所得があったため	1.8
2.3	7	株式など金融資産や不動産(土地など)を売却したため	7	株式など金融資産や不動産(土地など)を売却したため	1.8
0	8	親からの遺産を相続したため	8	親からの遺産を相続したため	0
62.2	9	その他(具体的に)	9	その他(具体的に)	56.8
5.2					5.9
(%)					(%)

問10 以前と比べて(例えば1年前と比べて)月々の所得が変わったとき、どのように対応されますか? 次の2つの場合それぞれについてお答えください。【当てはまる番号を下欄にお書きください。】

月々の所得が上がったとき			月々の所得が下がったとき		
11.6	26.1	1	毎月の消費額を増やす	67.7	13.6
57.3	17.6	2	毎月の貯蓄額を増やす	16.0	55.5
3.4	9.0	3	子どもの教育費を増やす	0.2	2.4
0.4	1.4	4	親への仕送りを増やす	0.2	1.2
8.0	17.6	5	住宅ローンなどローンの返済を増やす(早める)	0.2	3.4
1.0	3.0	6	その他(具体的に)	1.0	2.0
18.4	25.3		← もっとも重要だと思うもの	14.8	22
(%)	(%)		← 次に重要だと思うもの	(%)	(%)

あなたの収入や消費などについておうかがいします。

問11 あなたご自身とあなたの世帯の年間収入（税・社会保険料込み）は、それぞれどのくらいですか。昨年の収入を参考に、下記のあてはまるものを選択してください。（それぞれ○は1つ）

あなたご自身の年間収入		あなたの世帯の年間収入	
30.5	1 0～130万円未満	1 0～130万円未満	1.0
17.6	2 130～300万円未満	2 130～300万円未満	7.0
12.0	3 300～400万円未満	3 300～400万円未満	11.2
14.2	4 400～600万円未満	4 400～600万円未満	21.4
9.8	5 600～800万円未満	5 600～800万円未満	17.4
5.8	6 800～1,000万円未満	6 800～1,000万円未満	12.4
3.0	7 1,000～1,200万円未満	7 1,000～1,200万円未満	7.2
1.6	8 1,200～2,000万円未満	8 1,200～2,000万円未満	4.8
0.4	9 2,000万円以上	9 2,000万円以上	1.4
5.2			16.4

(%) 問11-1 あなたご自身の年間収入には、どのような種類の収入が含まれますか。すべてに○を(%)

つけてください。（○はいくつでも）

7.8	1 日給 0.6	6 育児休業給付	10 事業所得（会社経営・自営業など）	10.4
0.6	2 週給 21.0	7 公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金など）	11 譲渡所得（株式や土地など）	4.4
57.9	3 月給	8 企業年金	12 仕送り	2.8
39.7	4 ボーナス 4.8	9 退職金	13 遺産相続	0.6
0.4	5 失業保険 1.4		14 収入はない	8.8
(%)	(%)		15 その他（具体的に)	4.8

問11-2 あなたの世帯全体の総資産（貯金、株、債券、土地・建物のおよその時価など）は、(%) およそどのくらいですか。（○は1つ）

17.4	1 300万円未満	4 12.8	2,200～2,000万円未満	7 5,000～1億円未満	10.4
9.4	2 300～800万円未満	5 14.0	2,000～3,000万円未満	8 1億～1億5千万円未満	3.4
7.8	3 800～1,200万円未満	6 16.6	3,000～5,000万円未満	9 1億5千万円以上	2.2
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	6.2

問12 あなたがお住まいの住居は、次のどれにあたりますか。（○は1つ）

63.7	1 一戸建ての持家	4 集合住宅の借家	13.8
2.6	2 一戸建ての借家	5 社宅・寮	3.4
14.4	3 集合住宅(マンション・アパート)の持家	6 その他（具体的に)	1.8
(%)	(%)	(%)	0.4

問12-1 持ち家の方におたずねします。現在、住宅ローンはありますか。ある場合、毎月の返済額はどのくらいかご記入ください。無い場合は「0」とご記入ください。

住宅ローンのご返済額 (月額)

	4.1	
--	-----	--

 万円

問13 あなたの最近ひと月あたりの消費額と、昨年のひと月あたりの消費額はおよそいくらですか。

最近ひと月あたりの消費額

	23.3	
--	------	--

 万円 昨年のひと月あたりの消費額

	23.5	
--	------	--

 万円

この「消費額」は、食費・外食費、光熱水道費、住居費(家賃など)、衣料費、交通費(自動車の維持費など含む)、医療費、教育費、教養娯楽費、その他の支出の合計です。

問14 あなたの最近ひと月あたりの貯蓄額と、昨年のひと月あたりの貯蓄額はおよそいくらですか。

最近ひと月
あたりの貯蓄額

		6.9	
--	--	-----	--

万円

昨年のひと月
あたりの貯蓄額

		7.9	
--	--	-----	--

万円

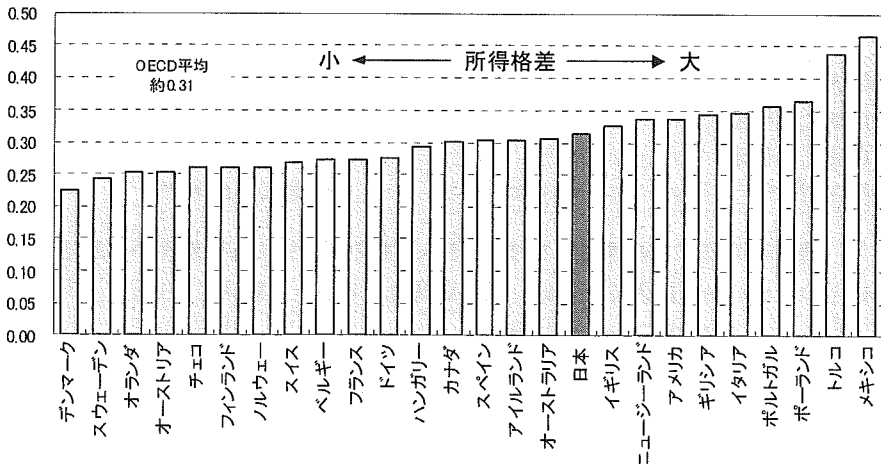
問14-1 貯蓄をしていらっしゃる理由として、あてはまるものを選んでください。【当てはまる番号を下欄にお書きください。】

52.9	28.2	1	病気や事故など予想できない出費に備えるため	5	資格をとったり留学などするため	2.5	2.3
18.1	24.2	2	退職した後の生活に備えるため	6	子どもの教育費のため	11.2	16.3
3.8	9.2	3	大型テレビや自動車など、耐久消費財を買いきたいから	7	子どもに遺産を残したいから	0.5	2.8
4.8	3.6	4	将来、住宅を買いきたいから	8	結婚に備えたいから	2.0	3.6
(%)	(%)			9	その他（具体的に	3.1	4.1
			← もっとも重要だと思うもの			1.0	5.9
			← 次に重要だと思うもの			(%)	(%)

問15 貯蓄は収益が変わることがあります。収益の変化に対するあなたの気持ちをおたずねします。仮に、10万円が当たる宝くじの当選する確率が「2分の1」（半々の確率で当たる）であったとします。この宝くじが1枚200円だった場合、あなたは、この宝くじを何枚まで買ってでもいいとお考えですか。その枚数をお答えください。

1	全く買わない	2	最大	145.5	枚なら買ってでもいい（1枚200円として）
14.2		84.6			1.2 (%)

問16 経済開発機構OECDという国際機関が、欧米・日本・韓国の所得格差を国際比較したグラフを公表しました（次図、濃い棒グラフが日本）。



資料：OECD "Income Distribution and Poverty in OECD Countries in the second half of the 1990s"
注：ベルギーとスペイン以外は2000年頃の数値。

この図によると、日本の所得格差は、北欧、ドイツ、フランスより大きく、アメリカよりは小さく、OECD諸国の平均に近いことがわかりました。これをみて、あなたはどのようなお考えをもちますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|---|---|
| 10.2 | 1 | 日本はアメリカと同様に経済・貿易に力を入れる必要があるから、政府の所得再分配政策は、所得格差がアメリカより大きくならない程度に、控えめに行えばよい |
| 63.5 | 2 | 福祉国家と呼ばれる北欧、西ヨーロッパ諸国のように所得格差が小さくなるよう、政府の所得再分配政策はもっと積極的にするのがよい |
| 23.6 | 3 | 日本の所得格差は、アメリカ、北欧、西ヨーロッパ諸国を含む OECD 加盟国の平均に近いから、政府の所得再分配政策はいまのままでよい |

2.8注) 所得再分配政策とは、所得の高い人の税や社会保険料の負担を重くして、これを財源に所得の低い人に所得移転する様々な政策(累進税制、公的扶助、失業給付、年金給付など)のことです。

問17 新聞・テレビの報道や国会で、所得格差が大きくなっているかどうかについて関心が高まっています。このことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|---|---|
| 14.0 | 1 | 所得が高いか低いかは自分の努力や成果によるものだから、所得格差は受け入れるべきだ |
| 13.0 | 2 | 所得の低い人を助けるのはよいことだから、税や社会保障を用いて所得格差を小さくする方がよい |
| 43.1 | 3 | 病気や災害など予想しないことで所得が低くなることもあるから、税や社会保障を用いて所得格差を小さくする方がよい |
| 14.2 | 4 | 所得格差を小さくするには、所得の高い人から低い人に所得移転するから、格差を小さくするのは所得の高い人のやる気を損なわない範囲にとどめるべきだ |
| 13.2 | 5 | 所得格差は、学校にいけるかどうか、就職するチャンスがあるかどうか、親から遺産があるかないかにも関係するので、どの人も機会が同じになるようにすることが大事だ |

2.6
(%) 医療保険の負担と給付についておうかがいします。

問18 あなたが加入している医療保険は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|------|---|---------------|----|-------------------|------|
| 21.4 | 1 | 組合健康保険 (本人) | 6 | 共済健康保険 (家族) | 4.2 |
| 14.2 | 2 | 組合健康保険 (家族) | 7 | 国民健康保険 | 26.7 |
| 13.2 | 3 | 政府管掌健康保険 (本人) | 8 | 国民健康保険・退職者医療保険制度 | 6.6 |
| 6.4 | 4 | 政府管掌健康保険 (家族) | 9 | その他 (船員、日雇など) | 0.0 |
| 6.6 | 5 | 共済健康保険 (本人) | 10 | 保険を持っていない、加入していない | 0.6 |

(%) 「組合健康保険」は主に大企業の提供する保険、「政府管掌健康保険(別名、社会保険)」は中小企業の従業員のために社会保険庁が運営する医療保険、「共済健康保険」は公務員の医療保険です。また、「国民健康保険・退職者医療保険制度」は、企業に勤めていた方が退職後、国民健康保険に入る場合に加入する保険です。 (%)

問19 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|---|---------|---|---------|
| 1 | よい | 2 | まあよい | 3 | ふつう | 4 | あまりよくない | 5 | よくない |
| | 26.9 | | 29.3 | | 31.3 | | 10.4 | | 1.2 |
| | | | | | | | | | 0.8 (%) |

問20 あなたは、最近3ヶ月の間に何度くらい医者にかかりましたか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---|-------------------|---|-----------|------------|
| 1 | かかった ⇒ (3.9回/3ヶ月) | 2 | かからなかった → | 7ページの間 21へ |
| | 59.1 | | 39.9 | 1.0 (%) |

問20-1 あなたが、最近3ヶ月間に通院で支払った医療費(自己負担分)はおよそいくらですか。

最近3ヶ月で

		14,788.0		
--	--	----------	--	--

 円くらい